

6学年 社会科学習指導案

指導者 高野 武

1 単元名 これからの日本を考えよう

2 単元の指導目標

(1) 我が国の戦後の歩みに关心をもち、進んで調べることができる。

(社会的事象への关心・意欲・態度) ①

(2) 国民の努力によって我が国が復興・発展したことや、オリンピックを契機に国際社会の中で重要な役割を果たすようになったことを考えることができる。

(社会的な思考・判断・表現) ②

(3) 身近な人から聞き取り調査をしたり、映像や写真、文章資料などを効果的に活用したりして、戦後の我が国が復興と発展の様子について調べ、表現方法を工夫してノートにまとめることができる。

(観察・資料活用の技能) ③

(4) 戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力で国民生活が向上したことや、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できる。

(社会的事象についての知識・理解) ④

2 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
・我が国の戦後の歩みに关心をもち、進んで調べることができる。	・平和で民主的な国家の一員として世界の人々とともに生きていくことの大切さについて思考・判断したことを、言語などで適切に表現できる。	・各種の資料を活用して必要な情報を読み取り年表や作品にまとめることができる。	・戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上したことがわかる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、小学校学習指導要領の目標（1）「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・关心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし国を愛する心情を育てようとする」、（3）「社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。」及び内容（1）「我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と关心を深めようとする」のヶ「日華事変、我が国にかかる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」を受けて設定している。

本単元では、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などを取り上げ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようになることをねらいとしている。日本国憲法については、戦後民主的で平和主義的な憲法が制定されたことを調べ、戦後我が国が民主的な国家として出発したことが分かるようになることがねらいである。オリンピックの開催については、アジアで初めて開催された東京オリンピックを取り上げ、国民の努力によって我が国が復興・発展したことやオリンピックを契機に国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようになることがねらいである。そして、平和を願う日本人として、世界の国々の人々と共に生きていくことについて考えることができるようにすることをねらいとしている。また、戦後から今日につながる日本の歩みを、戦後の改革や高度経済成長を手がかりに捉えさせ考えさせていくことは、これからの社会を担う子どもたちに社会が進むべき方向を考えさせていくという意味において意義あることである。さらに、歴史は過去の

出来事を扱う学習ではなく過去は現在につながっていること、それらは未来にもつながっていることを意識させるにも適した単元である。

(2) 児童の実態

調査実施日 平成*年*月*日 在籍人数 *人

調査内容		児童の実態			
1 新聞記事やニュースに関心がある。		はい	*人	いいえ	*人
2 資料から読み取ったことをノートにまとめることができて得意である		はい	*人	いいえ	*人
3 戦後の社会について、次の言葉を知っていますか。 (未習事項)					
① 日本国憲法		はい	*人	いいえ	*人
② 国際連合		はい	*人	いいえ	*人
③ 東京オリンピック		はい	*人	いいえ	*人

本学級の児童は、歴史の学習に対する関心が高く、歴史上の人物や歴史的事象を調べ新聞にまとめる作業に意欲的に取り組んでいる。アンケートの結果から、新聞記事やニュースに関心があり、さらに過去の出来事だけでなく、現在の社会の様子に目を向けている児童が多い。また、未習事項の言葉についても知っていると答えた児童が多い。

(3) 指導観

本単元は、戦後の日本の復興・発展に焦点があてられており、現代の日本があるのは先人の努力があったからと言ってもよい。そこで、児童には、先人の努力をしっかりとと考えられるようにしていきたい。

まず、第一次では、戦後直後と数十年後の写真を提示し、大きく変化したことを読みとらせたい。様々なジャンル毎の写真を比較させることで、現代の生活との違いに関心をもたせ、意欲的に学習を進めていけるようにしたい。

第二次では、日本の復興・発展について立てた予想を、3つのグループに分けて調べていくこととする。「政治や外国との関わり」、「産業や国民生活」、「東京オリンピック」、この三つの社会的事象は、どのように日本の復興・発展に役立ったのか調べさせていくことで、様々な立場から人々が復興に携わっていったことがわかるようにしていきたい。

第三次では、調べたことを基に、これから日本について、自分なりの考えをしっかりとまとめ、自分の思いを伝えあえるよう、ペア学習、グループ学習、全体学習と学習形態を工夫し、話合いがより深まるようにしていきたい。

4 単元の指導計画（6時間扱い）

次	時	学習活動	指導上の留意点 (○) ・評価 (◎) (評価の方法)
第一次	1	○ 新宿の3枚の写真を見て、気付いたことを話し合う。 ○ 「日本が平和で豊かな国になった理由を考えよう。」という学習課題を設定する。	○ 建物、服装、道の様子など、視点を絞って変化を捉えさせるようにする。 ○ 変化には契機があることから、その理由を想像させるようする。 ○ 戦争が終わった後の社会の変化に興味・関心をもち、学習課題を考えることができる。 (①発言・ノート)
	2	○ 戦後に行われた改革や日本国憲法について調べる。	○ 戦後の改革のそれぞれを詳しく調べるのではなく、その概略をつかみ、共通して目指すものを考えさせる。 ○ 日本国憲法については、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の柱を捉えさせるようする。 ○ 各種の資料から、我が国が民主的な改革と平和民主的な日本国憲法を制定することにより、新しい国として出発したことを読み取り、まとめることができる。 (③発言・ノート)
第二次	3	○ 日本が国際社会の復帰を果たす前後の世界の動きや日本の様子について	○ 年表や写真資料などを活用して、独立までの経過の概要を捉えさせる。 ○ 朝鮮戦争や東西の対立など、国際社会の中で、日本の独立

	調べる。	が承認され、復興を願う国民の努力によって産業が発展したことがわかる。 (④発言・ノート)
4	○ 東京オリンピックの開催やその前後の国民の生活について調べる	○ 戦後の日本の発展を「東京オリンピック」に注目してまとめさせるようにする。 ○ 家族や当時を知る人から話を聞いたり、図書館の資料などを基に情報を収集したりすることで、オリンピック開催の前後の生活の違いについて、多面的に考えさせるようにする。 ○ オリンピックの開催が契機になり、日本が国際社会に認められるとともに、経済が発展し国民の生活が向上したことがわかる。 (④発言・ノート)
第三本時	○ 現在の日本が抱える課題や果たすべき役割について調べ、わかったことや考えたことを話し合う。	○ 身近に存在する課題やニュース、歴史学習で学んだ課題などから、これから世界のあり方を考えさせるようにする。 ○ 現在の日本が抱える問題や国際社会での課題から、日本が果たすべき役割について考えることができる。 (②発言・ノート)
	○ 自分が生まれてからこれまでのできごとや世の中の動きを年表に表す。	○ 年表を参考にして、できごとを見出すようにさせる。 ○ 過去を知るにとどめず、日本の将来を考えるために、歴史の学習を活かして考えることができる。 (②発言・ノート)

5 本時の学習

(1) 本時の目標

現代の日本が抱える問題や国際社会での課題から、日本が果たすべき役割について考えることができる。

(2) 準備・資料

・掲示用資料　　・資料集　　・ワークシート

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点(○)・評価(◎)・評価方法
つかむ	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> これからの日本は、どのような国になることを目指していくらよいでしょうか。 </div> <p>2 本時の学習の流れを確認する。</p> <p>(1) 学習形態と時間配分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人（10分） ・グループ（10分） ・全体（15分） ・1人（5分） <p>(2) ニュースや新聞記事、教科書の資料から問題や課題を発表する。</p> <p>【予想される児童の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄のアメリカ軍基地 ・北方領土 ・原発問題 ・地球温暖化 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習内容を確認する。 ○児童が司会をすることで、児童主体の授業を展開できるようにし、コの字型に机を配置して、話し合いがしやすいようにする。 ○学習の流れを確認し、見通しをもって課題に取り組むことができるようとする。 ○日本が抱える問題や、国際社会での課題についての写真や資料を提示し、本時の学習について関心をもたせる。 ○教科書の資料を手掛かりに、問題や課題のイメージをふくらませるようとする。 ○ニュースや新聞記事などを通じて知っていることも含めた問題や課題について、自分たちの暮らしと関連付けながら発表させるようする。
考え方	3 問題や課題の中から一つを取り上げ、それを解決するために、日本はどうすればいいかをワークシートに記入する。	○司会・記録・時計・発表の分担を決め、役割を意識しながら話し合いを進められるようにする。

る	(1) パーソナルワークで考える。 (2) グループで話し合う。	○グループの司会者は、グループ全員が発表できるように配慮する。 ○グループでの活動を取り入れ、考えを発表したり聞いたりしたりする機会を設けることで、事象を多面的に考えられるようにする。
深める	4 全体で意見交換をする。 ○グループで話し合ったことをホワイトボードを使って発表する。	○考えを伝え合う機会を増やすことで、様々な考えに触れられるようにし、その中で自分なりの意見をもち、表現できるようにする。 ○現在の日本が抱える問題や国際社会での課題から、日本が果たすべき役割について考えることができる。 (②発言・ノート)
まとめる	5 本時の学習のまとめをする。 これから日本の日本は、世界の平和や自然環境を守るような国を目指していくといつたらよい。	○学習課題について、友達と考えを交流させ、新しく発見したことや考えが深まったことについて自分の言葉でまとめられるようにする。
振りかえる	6 振り返りをする。 7 次時の学習内容を確認する。	○学習を振り返り、分かったことを80字から100字で自分の考えを書くようする。 ○次時は、自分が生まれてからこれまでのできごとや世の中の動きを年表に表すことを伝える。